

第Ⅱ回 院内感染対策中央会議

日時：平成26年8月27日 午前 9：30から11：30

場所：厚生労働省

薬剤耐性菌の検査対応について

山口県環境保健センター

調 恒明

1. 薬剤耐性の検査（耐性の表現系）

- ・医療機関、地域の大学
- ・地方衛生研究所
- ・感染研

2. 薬剤耐性遺伝子の検査（PCR、（NGS））

- ・大学
- ・地方衛生研究所
- ・感染研

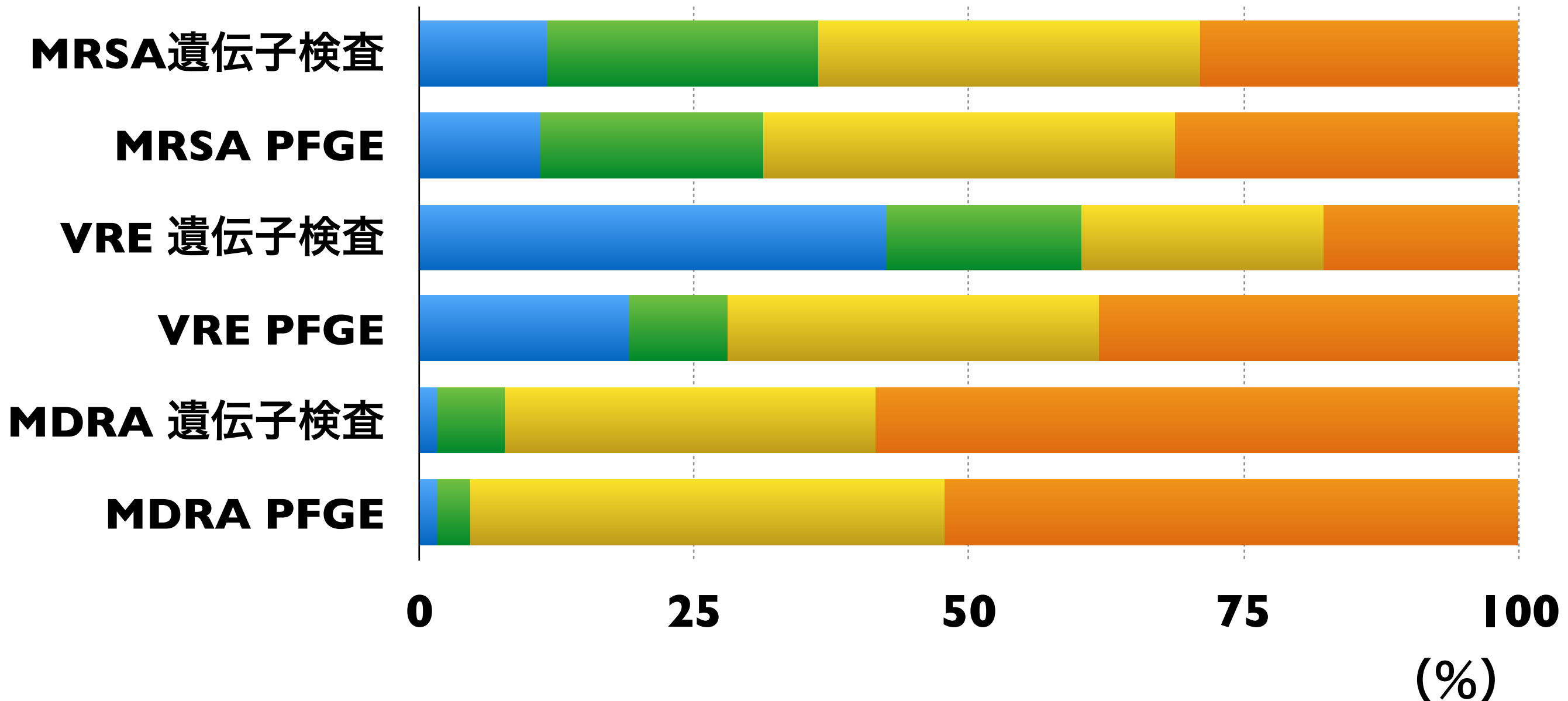
3. 複数の菌株の遺伝的同一性の確認（PFGE、NGS）

【目的】院内感染の証明、地域における同一菌株の広がりの把握

- ・地方衛生研究所
- ・感染研

地方衛生研究所における薬剤耐性菌の検査実績

■ 行政依頼検査 ■ 調査研究 ■ 実績は無いが可能 ■ 実施不可



平成24年度地域保健総合推進事業 アンケート調査

全国地方衛生研究所 79機関 (回答率93.7%)

実施者：山口県環境保健センター 調 恒明

1. 院内感染対策（医療法）

2. 感染症発生動向調査事業（感染症法）

1) 感染症の把握

全数把握：バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（**VRSA**）、バンコマイシン耐性腸球菌（**VRE**）

定点把握：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、多剤耐性アシネトバクター（MDRA）

2) 五類感染症病原体検査（病原体サーベイランス）の対象疾患

VRSA、VRE

感染症法改正

→ **MDRA**、腸内細菌科カルバペネム耐性菌感染症（**CRE**）が全数把握に

→ **MDRA**、**CRE**をサーベイランス対象病原体に（未定）

検査と耐性菌把握のながれ（将来像）

大学

- ・ 研究による制御
（新規の耐性菌の発見など）
- ・ 地域における時間的地理的把握

地方衛生研究所

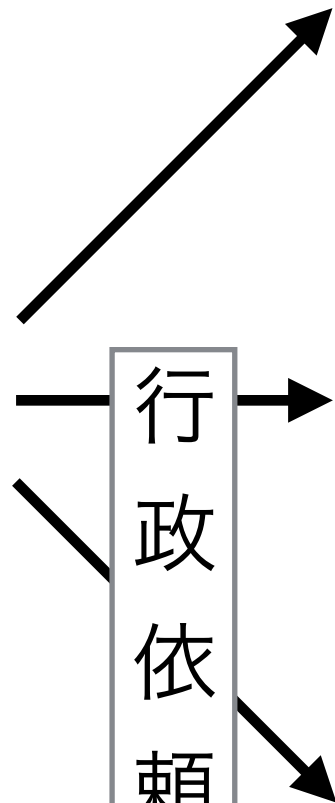
- ・ PCR、PFGE、（NGS）
- ↓
- ・ 地域における時間的地理的把握

国立感染症研究所

- ・ 高度な検査
- ・ 国全体の把握

医療機関

行政
依頼
検査



要旨

1. 薬剤耐性菌の同定には専門性が必要

- **PCR**による遺伝子検査が有力であるが一般の基幹病院では（**PCR**そのものが）行われていない
→大学、地方衛生研究所、感染研の協力態勢が重要

2. **VRE**、**CRE**など保菌状態で拡大する薬剤耐性菌対策

- 地域における時間的、地理的分布（拡大）の把握には**PFGE**、（**NGS**）による株の遺伝的解析
- **CRE**ではプラスミドの**PCR**、**NGS**による分析が必要
→大学、地方衛生研究所、感染研の役割が重要

3. 行政依頼検査

- 多くの場合、自治体の判断により地方衛生研究所、感染研で実施
→感染症発生動向調査事業で**CRE**、**MDRA**が病原体検査の対象疾患となること、自治体の予算措置、感染研から地方衛生研究所への技術的支援が必要